

横須賀市議会議員

長谷川 昇

市政報告



はせ 長谷川 昇  
どん はせがわ のぼる

2015年4月～横須賀市議会議員二期目当選

所属:生活環境常任委員会委員

広報公聴委員会副委員長等

所属会派:「研 政」

住 所:〒240-0101 横須賀市長坂 3-3-11

連絡先:080-4383-1633

E-Mail:hasedon2@gmail.com

はせどん HP <http://hasedon.info/>

# 2015～2017 市政報

議員として4年間を振り返る 2011.4～2014

**暮らし Life**

- 第三者による戸籍の不正取得が横須賀市で77件あることを発覚。(2013.11 第4回定例会)
- 「本人通知制度」の14年度中期設置を約束させる。(2014年第2回定例会)
- 横須賀市民病院の小児科の休止再開に対して、小児科の再開を強く要望。(2014.3 第1回定例会)
- 谷戸地域での小規模多機能の介護施設の実現に向けて、議会で一貫賛成する。(2014.6 第2回定例会)

**教育 Education**

- 横須賀総合高校に「県高一貫校」を設けようという提案に賛意を表明する。(2012.9 第3回定例会)
- 少人数学級の実現、教育予算の拡充に関する採否を受け、議に對しての専断案の提出に賛力する。(2011～2014年)
- 学校選択制の撤回と制度の廃止に向けた提案をする。(2013.11 第4回定例会)
- 教職員の多忙化の解消に向けた教育費削減のとりくみについて賛同する。(2014.8 第2回定例会)

**地域 Areas**

- 戸名にある県環境センターへのかたき、海濱の移入問題に對して、「意向調査」の実施等、地域の組合町内会、地元のみなさんと協議しながらとりくむ。(2011.12～2013.6)
- 東日本大震災の教訓を学ぶために被災地への支援と視察を繰り返し行う。(2011～2014、岩手県大槌町・釜石市・福島県金津野町市、宮城県石巻市、青森県八戸市等)
- アライクマ・タイワンリス駆除委員の、生息地の放棄に関する課題を指摘する。(2012.9 第3回定例会)

**平和 Peace**

- 横浜特報にとりくむ平和市長会連の幹部安市長に要請する。(2012.9 第3回定例会)
- 原子力発電の安全性に關して、重油汚染事故に對しての問題を指摘する。(2012.9 第3回定例会)
- 福島県伊達市・馬場村を視察し、放射能を測定する。(2011.10)
- 沖縄の普天間基地と辺野古埋め立て問題に對して賛同を表明し、沖縄と連携する。(2013.12)
- 防災体制等整備特別委員会で、「避難指示・0.11全市一斉避難訓練・訓練所選定等」に對して意見を反映する。(2011.6～2012.12)

## 告

〔市政報告について〕 2015年4月の統一地方選挙から、2年が過ぎました。長谷川昇二期目前半の活動を振り返るとともに、多くの市民の皆様と、市政について意見交換をするきっかけとなるよう、今回特別版を作りました。今回は、2015年統一地方選挙に立候補した際にリーフレットでお約束した4つの柱を軸に活動を報告いたします。

### 1. 暮らし LIFE

ともに生きる社会をつくり



たい

- ◆高齢者や障害のある方も共に安心して暮らせる街をめざしてとりくみます。
- ◆出産・育児の子育ての課題や、介護・地域医療の課題、医療の充実にとりくみます。
- ◆若い人の非正規雇用の問題、地元産業の育成と雇用の創出

にとりくみます。

〔所感〕・今振り返ると、この2年間は、私にとって大きな「人生の節目」でした。2015年8月に母が脳出血を発症し、病院の入退院を繰り返してきました。また、重ねて同年9月から父のがんとの闘いが始まり、入退院手術等を経て、昨年8月に「自宅での看取り」をすることができました。地域、関係者の皆さん、さらに、医療や介護の現場の皆さんに感謝しております。今後この経験を生かした活動をしていきたいと思えます。

横須賀の「在宅医療」の取組を後押しします。 「在宅死の割合が日本一(22.9%)」

横須賀市は、自宅で最期を迎える「在宅死」の割合が全国の人口20万人以上の都市の中でもっとも高く22.9%となった。県内他市の状況は川崎・横浜が16%台、相模原が12%程度なので、それと比較しても高い水準だ。実際に、多くのお年寄りが「自宅で最期を迎えたい」と願っていますが、ほとんどの方は「病院や施設で最期を迎える」ことが現状の中、横須賀市の取り組みが注目されています。▼その背景には、「在宅医療」の体制作りをしてきたことがあげられます。医師だけでなく、看護師、ケアマネージャー、行政が連携し地域の訪問在宅治療を連携した体制をつくり、最後まで「看取り」をきちんとサポートする体制が作られていることです。▼当事者や家族が望む最後のあり方を選択することができよう、地域の中で、「在宅医療」を発展させていくために力を尽くしたいと考えています。

★議会内外での質問・意見・提言等 (◎本会議 ○委員会 ◇議会外)

◎市民病院の小児科の入院廃止後、市民病院の小児科の再会について質問(2015～)

◇大楠幼稚園の廃園提案に対し、住民とともに、署名の取り組みに関わる (2016. 1)

◎仮称中央こども園の「定期借地提案」の撤回を提言しました。(2016. 12)

○放課後児童対策の充実。全児童対策が予算化され、荻野小で始まる予定です。(2017. 2)

## 2・ 教育 Education

ゆたかな教育のための

### 環境づくり

- ◆子どもから高齢者まで、一人ひとりの学びを保障するための条件整備等につとめます。
- ◆「教師が子どもと向き合う時間を確保する」ために、定数の改善や学校現場の多忙化の解消にむけ、とりくみます。
- ◆格差社会の進行による「子どもの貧困」が深刻です。学ぶ機会を保障するための教育環境の整備にとりくみます。



[所感]・先日、「中学校教員の6割が過労死レベル」という国の調査結果が報道されました。学校現場の多忙化は極限の状況になっています。「子どもと向き合う時間の確保」はもちろんのこと、「教師の健康の維持」を様々な観点から、進める必要があります。労働安全衛生委員会の取り組みを進めるとともに、実効ある対策の実施を求めています。

35人以下学級を小3に拡充を市費で実現。 条例の改定もすすめます。

「少人数学級の推進」は、子どもたちにとっても教師にとっても「子どもと向き合う環境作り」として最も大きな課題の一つです。2012年に定数法は改正され、附則で、少人数学級の実現にむけた道筋は方向付けられましたが、予算配置がされず実現していないのが現状です。▼そういった中で、横須賀市は2016年4月から「小学校3年生」にも、市の予算配置で独自に35人以下学級を実現しました。他県では数多くの自治体実践していますが、神奈川県内では横須賀市が一步先んじた「特色のある施策」です。▼しかし、課題はあります。義務制の教職員（小中の教職員）は、県の予算で配置されているのですが、横須賀市には、臨時任用職員（臨任）の規定がないため、「非常勤職員」でしか採用ができません。そのことが、学校現場での任用に不都合があることや、教員が集まらないという課題も出ています。▼私は、議会の中で今後、条例改正も含め、「市の臨時任用職員」の創設の実現をはかることを強く要請しました。

★議会内外での質問・意見・提言等（◎本会議 ○委員会 ◇議会外）

◎教職員の勤務時間の調査から、具体的な実効ある改善を求める。（2017.6～）

◎給食費の徴収を、「公会計」システムに、議員提案の「給食条例」の提案（2017.2）

◎小学校の3年生35人学級の実現、条例の制定を提案（2016実施・2017.6～）

◎教育予算の拡充、教職員定数の改善に関しての意見書の提出（2015～2017）

◎○学校選択制度の見直しに向けた提言（2015～）



### 3・ 地域 Areas

ともに生き、ともに学びあう

#### 地域づくり



◆三浦半島の自然を守り、環境問題や地域の課題にとりくみます。

◆横須賀の文化遺産・歴史遺産を保護するとともに、新たな文化の発信にとりくみます。

◆地域に根ざした歴史、文化の学習の場づくりをはかり、地域コミュニティの拡充をはかります。

[所感] ・三浦半島は、海・山に恵まれ、自然豊かな素晴らしい環境があります。しかし、それを維持し発展していくことを自分の方針にあります。NPO 法人とともに、三浦半島の自然環境の保全に取り組んできました。また、芦名・浄楽寺の運慶仏の国宝化に向け、観光協会と連携し、取り組みをすすめています。

秋谷海岸の水上バイクの乗り入れについて、「海・浜ルール」の制定

へ

秋谷海岸を舞台に新たな問題が起こっています。昨年夏、秋谷海岸に民間企業が水上バイクの貸し出しと管理を営業した際に、騒音や悪臭、風紀の問題など住民からのクレームが多く起こりました。▼それを受けて、今年4月に、秋谷町内会は、「水上バイク乗り入れの禁止」を求めて横須賀市に要望書を提出しました。その結果、横須賀市と業者・地元との話し合いの場を設けて、「今年度に限る」という前提で、利用案をまとめました。▼今後、横須賀市全体としても「海・浜ルール」を定め、利用規程などを作っていく方向で動いています。

★議会内外での質問・意見・提言等（◎本会議 ○委員会◇議会外）

◇バス路線の新設について、連合町内会とともに要請書を副市長、京急に提出（2015.8～）

◎地域におけるコミュニティバスの実現について、（2015.12～）

◇芦名・浄楽寺の運慶仏の国宝化に向けて地元観光協会と協力しすすめます。（2016～）

◎秋谷海岸の利用について「海・浜ルール」の制定や、条例化に向けて取り組みます。（2017.6～）

◇NPO 法人と共に、「扇子畑」など地域で自然に親しみ学べる取り組みをすすめています。（2016～）

※林の二丁目・農協本店の裏の山が「扇子畑」という地名です。その私の親戚の畑を使って、活動をはじめました。

◇「長坂緑地」の市民の有効利用ができるよう、取り組みをすすめています。（2017.3～）

◇横須賀を舞台にした映画「スカブロ」が汐入イオンで上映され、今後全国展開の予定。（2017.6～）

## 4・ 平和 Peace

安全と安心は生活の礎（いし

ずえ)

- ◆日本国憲法の理念を生かし、核兵器の廃絶にむけてとりくみます。
- ◆原子力空母の母港に起因する問題にとりくみます。市民の安全安心が保障されるよう、原子力発電所の事故に起因する問題にとりくみます。
- ◆東日本大震災から学び、自然災害に対して、市民のいのちを守る観点からすすめます。



〔所感〕・日本国憲法が危機に面しています。戦後この方様々な評価はあるが、平和を守ってきたのはこの憲法のおかげであると自負する必要があります。現代の新たな権利が発生している中で人権を拡大する観点での「加憲」の考え方は、否定するものではありませんが、憲法の改正を進めることで、憲法の基本原則がねじ曲げられることがあってはならないと考えます。

原子力防災に対して、米軍基地内従業員に対しての避難訓練を質問

国の原子力防災計画が改定され、避難基準は100マイクロシーベルトから5マイクロシーベルトに改善されましたが、避難範囲は「1km以内」のままと据え置かれました。▼このことに関して、基地従業員の原子力防災に対する避難計画、事故発生時を想定した避難訓練等の実施について質問しました。▼質疑を通じて、従業員の安全が守られていない事実が明らかになり、前吉田市長に対して、南関東防衛局及び米軍に対して、要請を行うことを約束させました。

★議会内外での質問・意見・提言等（◎本会議 ○委員会◇議会外）

◎平和首長会議に参加するよう市長に要請し、横須賀市は参加しました。（2016,4）

◎原子力防災に関して、米軍基地従業員の避難訓練の実施を求めました。（2016,11）

### 1.横須賀・西地区の「みらい」を語る会

2017年8月12日（土）19時～

於：長坂町内会館 新館 長坂3-12-46

856-6811

○「交通」・・・コミュニティーバスの創設？ ・バス路線への要望ととりくみ

□「地域」・・・「長坂緑地」の利用法を考えよう？

○[教育] ・放課後児童教室について

他 参

加費 無料

### 2.芦名・浄楽寺見学会 「運慶を観る」「前島密の史跡を訪ねて」

2017年8月26日（土）13時～

於：芦名・浄楽寺

参加費 400円

○9月末から、東京国立博物館で「運慶」展が開催されます。浄楽寺の5体が参加予定。運慶展の前に是非。